

【授業研究②】

「読むこと」「書くこと」

— 足立区立寺地小学校第6学年の授業実践 —

【単元目標】 ALTに宝物クイズを出して交流するために、
 自分のことについて話したり友だちのことについて聞いたりしながら、
 伝え方を工夫して話すことができるようにする。
 例文を参考に文を読んだり、書いたりする。

1 単元 Unit 2 How is your school life?

2 単元目標

ALTに宝物クイズを出して交流するために、自分のことについて話したり友達のことについて聞いたりしながら、伝え方を工夫して話すことができるようにする。例文を参考に文を読んだり、書いたりする。

3 言語材料

【表現】 I live in ～. I go to～. I usually～. My treasure is ～. など

【語彙】 乗り物、一日の時間、文房具、一日の生活、日常生活、など

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やり取り]	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分ことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

※ 本単元における「聞くこと」「読むこと」については目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is ~. 及びその関連語句などについて、理解している。</p> <p>〈技能〉 日常生活に関することや、自分や相手の宝物について、I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is ~ 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>ALT に宝物クイズを出すために、日常生活に関することや、宝物などについて、友達とお互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>ALT に宝物クイズを出すために、今の自分について表現した手紙を出すために、日常生活に関することや、宝物などについて、友達とお互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>
書くこと	<p>〈知識〉 日常生活に関することや自分の宝物など、I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 日常生活に関することや自分の宝物など、I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is ~. など、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>ALT に宝物クイズを出すために、日常生活に関することや、宝物について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書いている。</p>	<p>ALT に宝物クイズを出すために、日常生活に関することや、宝物について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。</p>

伝え方を工夫して

【単元目標】 ALTに宝物クイズを出して交流するために、自分のことについて話したり友だちのことについて聞いたりしながら、伝え方を工夫して話すことができるようにする。 例文を参考に文を読んだり、書いたりする。

【協議】



1 本時の目標を達成するための手立てについて

(特に、「やりとり」、「中間指導」を繰り返し、
児童が表現に十分に慣れ親しんだ上で、
宝物クイズを「書く」活動を行う展開について)

6 本時の指導

時間	学習活動	・ 留意点 ◇ 評価規準 (評価方法)
0	(1) Greeting Hello. How are you today? I'm ~ thank you, and you? What is the date today? It's ~. What day is it today? It's ~. How is the weater today? It's ~.	
5	(2) Today's goal の確認 ALT に伝わるように宝物クイズを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードにめあてを記入する。 ・ ALT に伝えることを目標にクイズの準備をすることができるようにする。
10	(3) Let's sing (4) ペアで宝物クイズを出し合う。 ① 一人で考える。 ・ 答えを決める。 ・ ヒントを考える。 ② ペアでクイズを出し合う。 ③ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。 ④ ペアを変えてクイズを出し合う。 ⑤ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師のデモンストレーションを見せる。 ・ 正しさよりも、どうしたら伝わるかを考えることができる雰囲気を作る。 ・ 確認した単語を使って、児童が伝えたかったことを文単位で確認する。 ・ 机間指導を通して、楽しく伝え合ったり、工夫して伝え合ったりしている児童の様子を紹介する。 ・ ALT に、より伝わり、より楽しめるクイズになるように工夫している姿を価値づける。

✓ Today's goal の「ALTに伝わるように」の部分について、児童それぞれが「どのような特徴があれば伝わるのか」を明確に意識できていることが大切

✓ 「伝わりやすさ」の異なるモデルを例示して、児童自身に違いを考え、ことばとして表現させる





4.ペアで宝物クイズを出し合う

試行錯誤しながら、クイズを出し合う。

◇ 評価規準（評価方法）

ドにめあてを記入する。
ことを目標にクイズの準備をす
ようにする。

10

(4) ペアで宝物クイズを出し合う。

- ① 一人で考える。
 - ・ 答えを決める。
 - ・ ヒントを考える。
- ② ペアでクイズを出し合う。
- ③ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。
- ④ ペアを変えてクイズを出し合う。
- ⑤ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。

- ・ 教師のデモンストレーションを見せる。
- ・ 正しさよりも、どうしたら伝わるかを考えることができる雰囲気を作る。
- ・ 確認した単語を使って、児童が伝えたかったことを文単位で確認する。
- ・ 机間指導を通して、楽しく伝え合ったり、工夫して伝え合ったりしている児童の様子を紹介する。
- ・ ALTに、より伝わり、より楽しめるクイズになるように工夫している姿を価値づける。
- ・ 1回目より良くなったところや自分で工夫したところを振り返り、共有する。

- ✓ 中間指導がとても効果的に組み込まれている
- ✓ 表現上の「伝わりやすさ」と、内容上の「伝わりやすさ」、2つの観点から児童の様子を見取ることができる
(それぞれを児童自身も明確に認識していることが大切)
- ✓ 「児童が英語で表したかったこと」について、単語レベルで提示する場合と、文のレベルまで整えておくべき場合を意図的に区別する



中間指導

児童の工夫を共有する



4.ペアで宝物クイズを出し合う

提示用のカードに伝えたいことを



中間指導

先生や友達とアイデアを出し合い、よりクイズに適切な表現を共有する。

4.ペアで宝物クイズを出し合う



ヒントとして「形」と言いたいが...

4.ペアで宝物クイズを出し合う



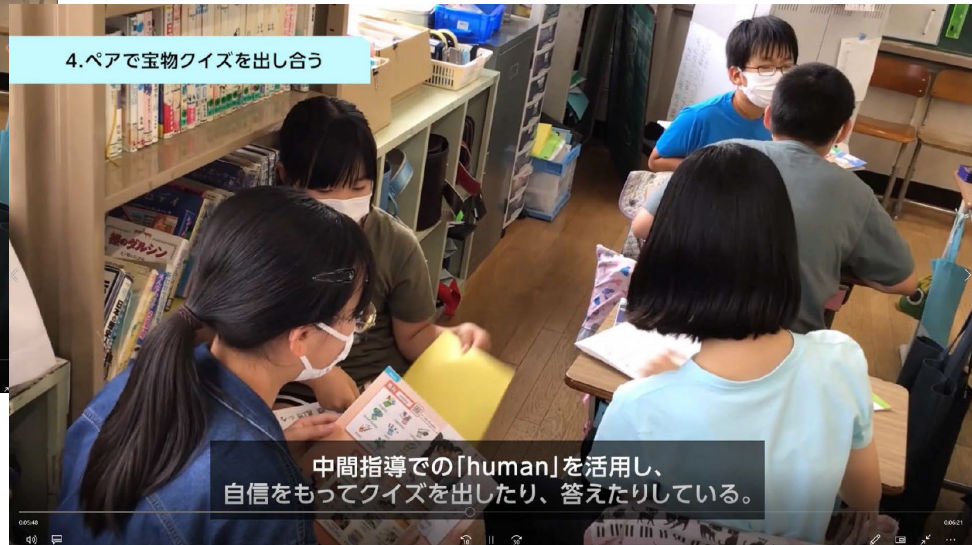
「やりとり」や手元の資料をもとに解決する。

4.ペアで宝物クイズを出し合う



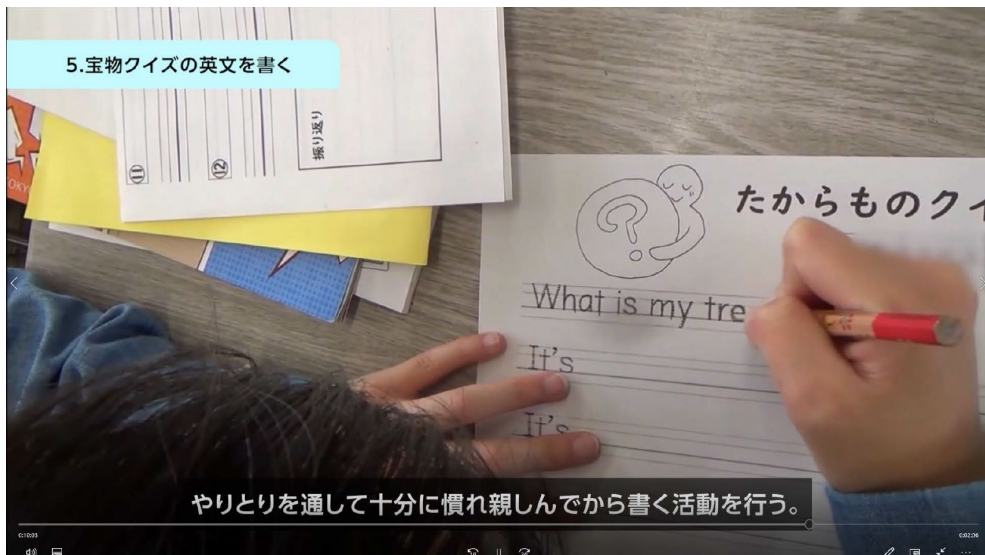
メンバーを変えて、再びやりとり。

4.ペアで宝物クイズを出し合う



中間指導での「human」を活用し、
自信をもってクイズを出したり、答えたりしている。

5.宝物クイズの英文を書く



やりとりを通して十分に慣れ親しんでから書く活動を行う。

宝物クイズの英文を書く



一人一台端末や資料を活用し、進んで調べている。

10

(4) ペアで宝物クイズを出し合う。

- ① 一人で考える。
 - ・ 答えを決める。
 - ・ ヒントを考える。
- ② ペアでクイズを出し合う。
- ③ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。
- ④ ペアを変えてクイズを出し合う。
- ⑤ 英語で伝えることができなかった単語を確認する。

- ・ 正しさよりも、ことができる雰囲気を作る。
- ・ 確認した単語を使って、児童が伝えたかったことを文単位で確認する。
- ・ 机間指導を通して、楽しく伝え合ったり、工夫して伝え合ったりしている児童の様子を紹介する。
- ・ ALTに、より伝わり、より楽しめるクイズになるように工夫している姿を価値づける。
- ・ 1回目より良くなったところや自分で工夫したところを振り返り、共有する。

25

(5) 宝物クイズの英文を書く。
 What is my treasure?
 It's ~. It's ~. (original)
 What is my treasure?
 That's right. No.
 My treasure is ~.

- ・ 掲示用のカードに伝えたいことを整理して英語で書く。
- ・ ピクチャーディクショナリーやクロブック、和英辞典を活用するように促す。
- ◇自分の宝物やそのヒントを、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。(行動観察 ワークシート)

40

(6) Today's comment

- ・ 振り返りを書く。
- ・ 次時の見通しをもつ。

- ・ めあてにそって振り返りを書くように促す。

45

✓ 「何のために書くのか」という書く目的、「どのようなことを意識して書くのか」という目標を、児童と指導者とで明確に共有できているか

✓ せっかく書き写す活動を行うなら、直後に「読む(read aloud)」の活動も組み込みたい(ただし、「読み」ながらのやり取り[コミュニケーション]にはしない)

6 本時の指導

時間	学習活動	留意
0	(1) Greeting Hello. How are you today? I'm ~ thank you, and you? What is the date today? It's ~. What day is it today? It's ~. How is the weater today? It's ~.	
5	(2) Today's goal の確認 ALT に伝わるように宝物クイズを考えよう。 (3) Let's sing	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り ・ ALT に伝えることがで



6.Today's comment

今日めあてに対して振り返りをするように促す。



6.Today's comment

学習のまとめ 次時の見通しをもたせる。

えなかった
ったり、工
の様子を紹介
るクイズに
ける。
分で工夫し
整理して英
ロブック、
参考に、音声

40	(6) Today's comment ・ 振り返りを書く。 ・ 次時の見通しをもつ。	<p>My treasure is ~.</p> <p>で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。(行動観察 ワークシート)</p> <p>・ めあてにそって振り返りを書くように促す。</p>
45		

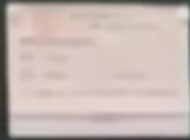
- ✓ 振り返りの視点をもたせることは大切
- ✓ 次時の見通しは、次時のめあての確認につながる。「前時の自分の姿とどのように異なるのか」が明確に伝わるように

6/13 MON Unit2 Lesson6 How is your

① ALTに伝えるように 'たからものクイズ' を考えよう。

<Today's Menu>

- ① Greeting
- ② Let's sing
- ③ たからものクイズを考えよう
- ④ Today's comment



It's

- human
- not busy
- light
- best friend
- not possible



たからものクイズ

Name _____

What is my friend?

It's _____

It's _____

My friend is _____

6月13日 水曜日

6/13 MON Unit2 Lesson4 How is your school life?

Today's goal

ALTに伝えるように宝物クイズを考えよう

Today's menu

- (1) Greeting
- (2) Let's sing
- (3) 宝物クイズを考えよう
- (4) Today's comment

単語の確認	

宝物クイズ見本

(読む用)

【協議】



2 小学校の段階で「書くこと」の指導を行う際、
どの程度まで求めるとよいか。

たからものクイズ

Name _____

What is my treasure?

It's _____

It's _____

の り

My treasure is _____

【書き写し】の活動

- ✓ 何のために書くのか(目的)
- ✓ どのようなことを意識して書くのか(目標)

表現面(知識・技能):文字の形、位置、etc.

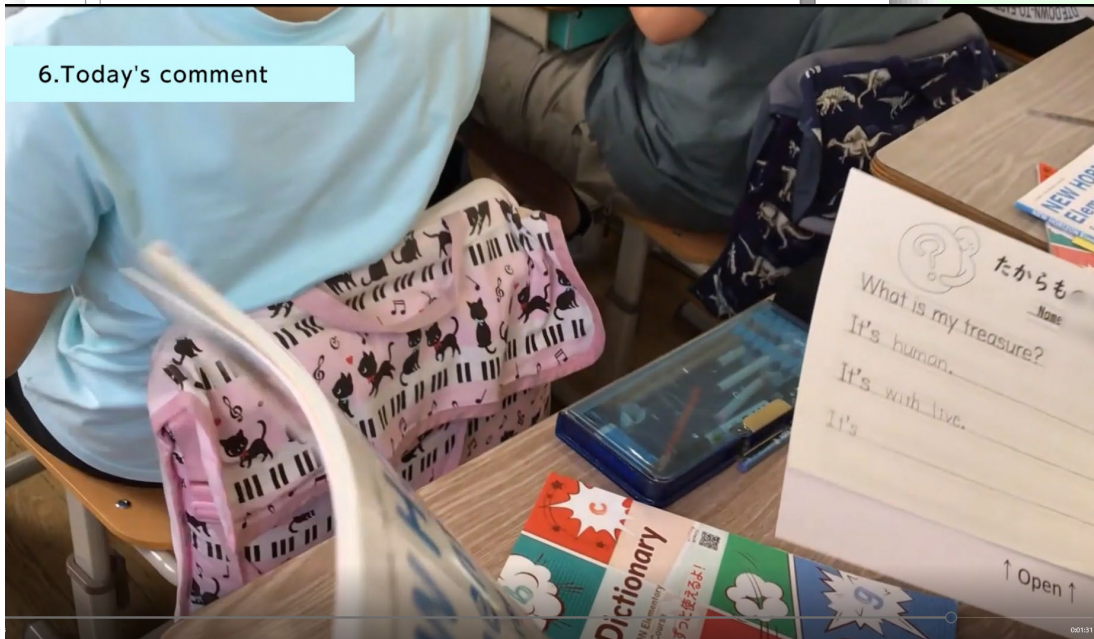
表現面(知識・技能?):語としてのまとまり

表現面(知識・技能?):文としてのまとまり

内容面(思考・判断・表現):

- (1)「伝わりやすい語句や表現」の選択
- (2)「クイズとして適切な(3つ目のヒントでようやく答えが分かる方がよい)」内容、構成(順)

6.Today's comment



- ◆ 文のはじめは「大文字」になっていますか？
- ◆ 文のおわりには「. (ピリオド)」がついていますか？
- ◆ 場所や人の名前、地名などのはじめは「大文字」になっていますか？
- ◆ 語と語の間にはスペースがあいていますか？ ⇒ n や o が1つ分(以上)
- ◆ 語はキュッとまとまっていますか？ ⇒ 文字が重なったり、くっつくのとは違う
- ◆ 4線のルールに従って書いていますか？

...



できることを
ひとつずつ
重ねていくイメージ

- 文のはじめは「大文字」で書いている
- 文のおわりには「. (ピリオド)」をつけている
- 場所や人の名前、地名などのはじめは「大文字」になっている
- 語と語の間にはスペースがあいている
- 語はキュッとまとまっている
- 4線のルールに従って書いている

...



「書き写し」後に可能となる「読む」活動

- 自分で書き写したものを発音してみる
- 書き写したものを友だちに見せながら(指で文字を追いながら)、音声でクイズを出題してみる
- 書き写したものをタブレット上などで共有し、友だちのものを任意に選んで解いてみる(その際、視覚情報を添えるなどの支援を)

「読むこと」「書くこと」の小中接続に向けて



(書き写した) 語句や文を見て「読む (read aloud) とき、児童は何を見えていますか？



語句や文を「書き写す」とき、児童は何か言っていますか？
言っているなら、それはどのような音ですか？

phonologically regular な語の意図的な導入

phonologically irregular な語にも自然に触れる

書記素 (音を表す記号) としてのアルファベット大文字と小文字の形の識別 (可能であれば定着まで)

アルファベットの大文字と小文字の区別は習得済

音韻認識 (語、脚韻、音節内単位、音素の単位)

音韻認識指導の効果を維持するための文字使用の流れから、フォニックス導入

語や文を「読む (read aloud)」する活動は、書き写し直後に

書き写しの段階を経なくても、綴りを見て語を「読む (read aloud)」できるように

語単位で一部の文字のみ「書き写す」活動を通して、個々の音が文字で表されることへの気づきを促す

音声で慣れ親しんでいる語を分解し、音素単位で文字と関連づけて綴ることができるように

任意の文字を書く活動は、大きく、運筆を意識して、正確さを重視しすぎないように

活字体の正確さ、および文字と文字をつないで綴ることも視野に

◆文字を書くこと

- ✓ まず大まかな形を、大きく書く練習から
- ✓ 手本から目を離して書いてみる
- ✓ 空書きでも「くつつくところ」や「大きさの違い」などを意識して
- ✓ リズムよく、メリハリつけて
- ✓ 空でも語（文字のまとまり）を書いてみよう
- ✓ 紙面に移っても、4線が小さすぎないように。太めの鉛筆で運筆から
- ✓ 黙って書くのか、何か言いながら書くのか？

◆文字や語、文を書き写すこと

- ✓ 何のために書き写すのか（目標）を見童と共有する
- ✓ 文字を書く練習／文字を書いて伝え合う活動
- ✓ 語を書く練習／語を書いて伝え合う活動
- ✓ 文を書く練習／文を書いて伝え合う活動
- ✓ 語の中の特定の文字に焦点を当てる（名称、音）／語全体の形のまとまりに焦点を当てる（文字間）
- ✓ 文の中の特定の語に焦点を当てる（発音）／文全体の形のまとまりに焦点を当てる（語間）

◆読むこと

- ✓ 繰り返し目にしてきた文字のまとまり (sight word) だから、
それ(その語)を見て発音できる
- ✓ 書き写したばかりの語句や表現だから
声に出して読める (read aloud)
- ✓ 視覚情報が表す語を言えるから、
綴りを見ながら読める (read aloud)
- ✓ 読める (read aloud) 語句や表現だから、
意味が分かる
- ✓ 語の発音が分かるから、(そしてローマ字綴りの知識もあるから、)
語の「はじめの音」を取り出して言える

下田先生、
寺地小学校の先生方、
6年1組の児童のみなさん

おつかれ
さまでした!

ありがとう
ございました!